

## 「中国 JGN2plus シンポジウム 2010」の講演概要

### 講演1 地域コンテンツ流通実証実験について

講師 ケーブルテレビ徳島株式会社 技術開発部 岩佐 達矢 氏

#### 「概要」

ケーブルテレビ徳島（株）（徳島市）、（株）愛媛CATV（松山市）、BAN-BAN テレビ（株）（加古川市）等で構成されるプロジェクトチームは、ブロードバンドとICTの利活用を図るひとつの方策として「地域映像」に着目し、JGN2 及び JGN2plus の超高速大容量ネットワークを活用した地域映像の地域間伝送やクラウドコンピュータを想定した共用など、効果的な映像コンテンツの伝送や共有、共用システムの研究について、実証実験を行っています。

地域映像を地域の資源として活用することで地域活性化や人づくりが期待されることから、その共用と円滑な流通、利活用を図るための仕組みを検討しています。

シンポジウムでは、超高速大容量ネットワークを利用した情報発信や地域活性化を目指す参考事例として、訴求力のある映像を切り口とした取組について、お話しいただくことにしています。

### 講演2 高専間の大容量教育コンテンツ配信実験について

講師 松江工業高等専門学校 情報工学科 准教授 原 元司 氏

#### 「概要」

松江工業高校専門学校では、JGN2plus を活用して高知工業高等専門学校（南国市）、米子工業高等専門学校（米子市）との間で大容量教育コンテンツ配信実験を行っています。

現在、少子化が進む教育現場、特に地域においては、いかに効率よく学生のスキルアップを図るかが重要となっています。離れている地域間の教育を遠隔授業の実施と教育用コンテンツの共用化で補うことはその解決方法の一つです。一方、高等専門学校では、運営交付金の削減によって教育スタッフ数が近年減る傾向にあります。このため、レベルを落とすことなくその影響を最小限に食い止めることが大きな課題となっています。

シンポジウムでは、これまでの JGN2plus の活用事例を通じて、その有用性と更なる改善に向けた課題について、お話しいただくことにしています。

講演3 新世代通信網テストベッド（JGN-X）について

講師 独立行政法人情報通信研究機構 連携研究部門

テストベッド企画戦略グループ リーダー 山口 修治 氏

「概要」

独立行政法人情報通信研究機構（NICT）では、平成23年度から5カ年計画で、現在運用しているJGN2plusに代わる新たな研究開発テストベッドネットワークとして、新世代ネットワークの実現とその展開に焦点を当てた「新世代通信網テストベッド（JGN-X）」の構築をすべく、現在、検討を進めているところです。

現在のネットワークは、セキュリティ、エネルギー消費等の課題を抱えており、それらの課題を解決するためには新世代ネットワークの実現が必要となりますが、そのためには、核となる要素技術を統合した大規模な試験ネットワークを構築して、ネットワーク全体のシステム技術を確立していくことが必要です。

シンポジウムでは、施策の具体的内容、施策の目的を達成するための手段、方法についてお話しいただくことにしています。